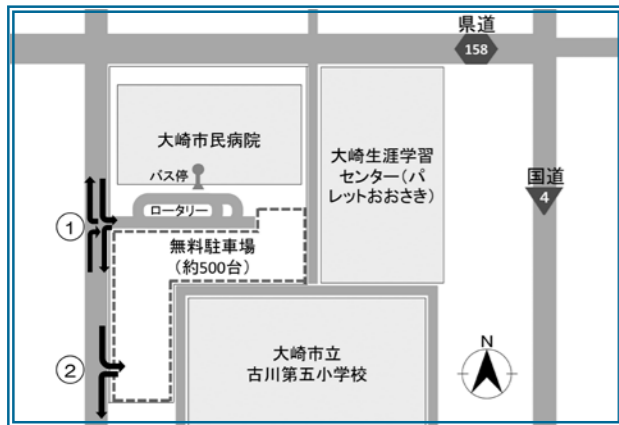
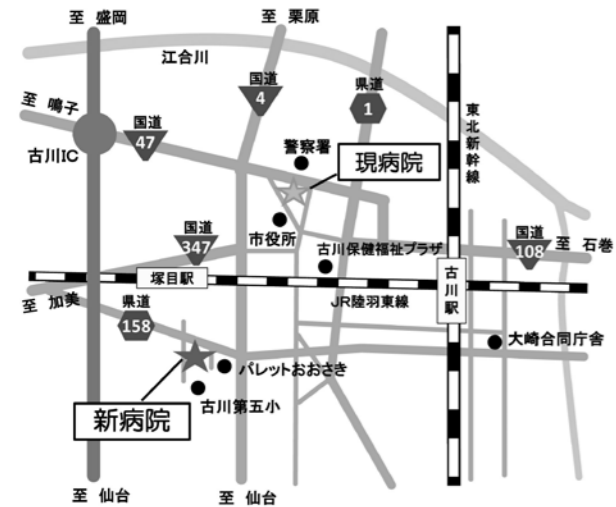


## 2 交通のご案内



### ■バスで来院する人

バスの乗り入れについては、以下のとおり予定しています。

#### ①シャトルバス(小型バス)

- ・JR古川駅～駅南～栄町～市民病院
- ・JR古川駅～台町～七日町～三日町～市民病院

#### ②美里町民バス

- ・JR鹿島台駅～大崎合同庁舎前～JR古川駅南口～栄町～市民病院

#### ③ミヤコーバス

- ・色麻線(JR古川駅～色麻町役場)の一部の便で乗り入れを予定

※停留所は、玄関前への設置(停留所名:大崎市民病院)を予定しています。時刻や運賃などは、今後、広報おおさきや市ウェブサイトなどでお知らせします。

### ■車で来院する人

左下の図の点線部分に、病院の利用者用として、約500台の無料駐車場があります。

無料駐車場へは、①と②の2カ所から入場できます。ただし、矢印のとおり、①は双方向からの入退場ができますが、②は左折のみの入退場しかできませんので、ご注意ください。

## 3 建物の特徴

東日本大震災の被災経験を基に、医療機能の充実はもちろん、省エネルギー性と防災対策を両立させ、今後建設される災害拠点病院のモデルとなるような計画としました。

### ■省エネルギー対策

- ①再生可能エネルギーの活用：太陽光発電、ペレットボイラ(小粒の固形燃料を使用したボイラで、固形燃料の原料には、蕪栗沼産ヨシや鳴子温泉地域産間伐材を使用予定)
- ②熱負荷の軽減：屋上緑化、Low-E 複層ガラス(断熱性を高めたガラス)
- ③高効率化：無影灯(手術室などで用いる照明器具の一種)・一般照明器具のLED化、省エネ空調器

### ■防災対策

- ①建物の強化(本館：免震構造、エネルギーセンター：耐震構造)
- ②ライフラインの強化

- ・電力供給：2回線の電源を受電する方式を採用しています。重要な機器は、停電時も電気を供給することのできるUPS無停電電源装置で給電します。
- ・非常用発電設備：1,000キロボルトアンペアのディーゼルエンジン発電機を2台設置しています。これにより、停電時も病院全体の電気容量を3日間以上給電することができます。
- ・都市ガス供給：高い耐震性の中圧で都市ガスを供給します。
- ・井戸水の利用：井戸水をろ過して、上水・雑用水として使用します。井戸の系統は二重化しています。



## 1 新本院の概要

- 名称 大崎市民病院
- 所在地 〒989-6183 宮城県大崎市古川穂波三丁目8番1号
- 開院予定日 平成26年6月28日(外来診療開始予定日：平成26年7月1日)
- 開設者 大崎市長
- 病床数 456床(一般病床442床、結核病床8床、感染症病床6床)
- 診療科目 全42科  
内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓・内分泌内科、神経内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、肝臓内科、疼痛緩和内科、腫瘍内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、肛門外科、血管外科、脳神経外科、乳腺外科、内分泌外科、食道外科、肝臓外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、内視鏡外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科
- 職員数 972人(平成26年3月1日現在)
- 敷地面積 32,108.42㎡(隔地駐車場除く)
- 建築面積 11,838.20㎡
- 延床面積 48,429.47㎡
- 構造 鉄筋コンクリート構造(本館：免震構造、エネルギーセンター：耐震構造)
- 階数 地上9階、地下1階、屋上ヘリポート
- 来院者駐車場 約500台
- 医療圏 大崎・栗原医療圏(大崎市、加美町、色麻町、涌谷町、美里町、栗原市)

# 新大崎市民病院本院

7月1日外来診療開始

三月三十一日、古川地域穂波地区に完成した、大崎市民病院新本院の概要をお知らせします。詳しい内容については、市民病院ウェブサイトにも掲載しています。

市民病院経営企画課市民病院開院準備室 ☎ 023-333-1111  
http://www.h-osaki.jp